

## ○ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

- 1 学年・教科 図画工作
- 2 単元名 ひかりのおくりもの
- 3 実践者（所属） 福山 創（平小学校）
- 4 活動を始める前に

### (1) 準備するもの

教材提示装置, 大画面テレビ（またはプロジェクタ・スクリーン）, デジタルカメラ

### (2) ICT機器やメディアの活用のねらい

- 教師の手元を一画面に拡大表示することで、児童の集中度が高い一斉指導を行う。
- 実物を拡大して提示することで、低学年児童が活動のイメージを持ち易くする。

### 5 指導計画

時	児童の活動	指導上の留意点
1	① 学習のめあてをつかみ、活動の内容を知る。	○活動のイメージが持てるようにする。
2	② 光をとおす穴をあけ、カラーセロハンを張る。	○安全を意識して活動するようにする。
3	③ 光をあてて色のかげをつくって楽しむ。	○具体的な張り方のコツを伝える。
5	④ 友人と作品を交換して楽しみながら、おもしろさや工夫したところに気づく。	○活動場所の確認をする。
6		

### 6 活動の流れ

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動（利用メディア）
1	○活動の内容を知り、光を通す材料の面白さに興味をもつことができるようにする。	○カラーセロハンを通して光がつくる楽しいかげなどに興味をもつ。
2	○楽しい形の光を通す穴をあける。	○ 段ボールカッターを使って穴をあける。
3		◎ 段ボールカッターの安全な使い方を知る（教材提示装置、大画面テレビ）
4		○うつつし出されるかげや色の感じを試しながら工夫してつくる。
5	○色などを工夫しながらカラーセロハンを張ることができるようにする。	◎ セロハンの上手な張り方を知る（教材提示装置、大画面テレビ）
6	○光をあてて色のかげをつくる場所をいろいろ試しながら、うつつし出されたかげのおもしろさを楽しむことができるようにする。	○カラーセロハンを張ったものを晴天の屋外に持ち出して、いろいろな場所に色のかげをうつつし出して楽しむ。
	○友人と作品を交換して試してみながら、楽しさや面白さを感じ合ったり工夫したところに気づいたりできるようにする。	◎ 活動場所を確認する（デジタルカメラ、大画面テレビ） ○友人と作品を交換しながら、光にあててみて楽しんだり、お互いの作品のよいところを話し合ったりする。

### 7 取り組み後の子ども達の変容や成果

- 実物（児童と同じ材料・道具、実際の場所等）を見せながら活動のポイントを説明することができるので、低学年の児童でも内容を理解し易く、活動に取り組み易い。
- 一画面を全員で見ることで、説明への集中度が高まるだけでなく、一度の一斉指導ですむので児童の活動時間を増やすことができた。

### 8 応用できます！

- 具体物を使った説明なら何でも応用できる。
  - ◎道具の使い方（絵の具、ものさし、分度器、コンパス、カッターナイフ、彫刻刀など）
  - ◎漢字ドリルを用いた新出漢字の指導